

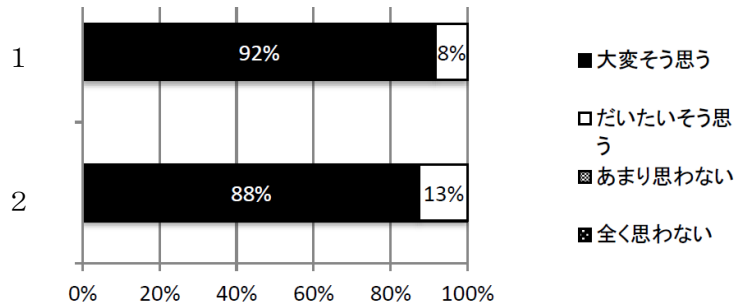
9月相双地区被災地研修 アンケート結果

2020/9/27

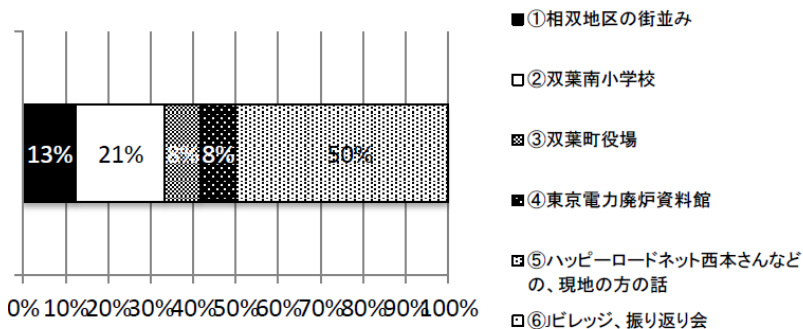
Q1～Q4は生徒24名のデータ、Q5～Q6は生徒24名、引率教員4名のデータ。

Q1 あなたの、相双地区の現状についての理解度は高まりましたか？

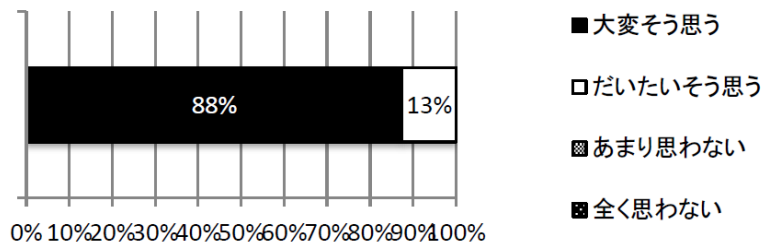
Q2 あなたの、相双地区の現状についての関心は高まりましたか？



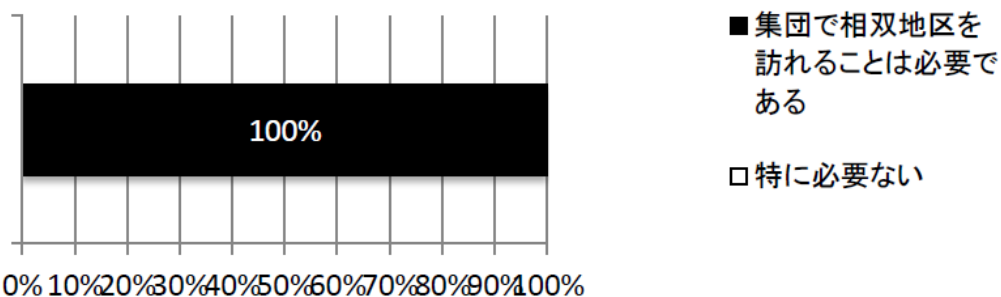
Q3 一番印象に残っているのはどの場所ですか？



Q4 研修全体について、満足しましたか？



Q5 高校で、今回のように集団で相双地区を訪れることについて、あなたの考えを以下から選んでください。①集団で相双地区を訪れることは必要である ②特に必要ない



<①集団で相双地区を訪れることは必要である>・・・28/28

理由

- 1 実際の小学校や役場を訪れてみて、自分の目で見たことで学んだ内容をより深めることができました。町の静けさや当時の緊迫した様子、本物の広さ、大きさ、量など実際に目で見ないと分からないことがあると感じたからです。また、集団で行くことで、それぞれ異なる意見を共有でき、より深く考えるきっかけになると思います。多くの人に本当の姿を見てもらえば、より多くの人へ正しい情報が発信されると思います。
- 1 今回、実際に相双地区を訪れたことで、講義やメディアなどでは得られなかった知識などを得ることができました。特に、当時のままである場所を訪れたときの衝撃は、講義で話を聞いたときの衝撃を大きく上回りました。意識を高め、知識を深めるためには、実際に相双地区を訪れる必要があると思います。
- 1 そのことを知る人が多いほど多くの人に広まるから
- 1 別に個人でもいいですが、団体で色々な話を聞いて、意見を交換しあうことで、多くの意見をきけて、自分の考えを見直すひとつのきっかけになると思うから。
- 1 やはり、肌で感じることで、自分が思い浮かべていたイメージとの「違い」を知ることができると思う。その違いが世界中に発信する際に非常に使えると思う。
- 1 過去の失敗はなぜ起こったのかという事に関心を持ってもらうべきだと思う。
- 1 一人では負担が大きいがみんなで行ったほうが互いの意見を交換できるから。
- 1 全国的に高校生は震災に対する理解が少ないと思うし、実際に目にする事で理解がさらに深まるとおもうから
- 1 1人でも現状を知ることによって誤解が少しずつ解消されると思うから
- 1 現地の方の貴重なお話を聞くことや、個人で行くことが難しい場所に立ち入ることもでき、先輩の、自分とは角度が異なる考えにも触れることができたため。
- 1 私たち郡山市民は、人にもよりますが震災で受けた被害は比較的小さかったと思います。しかも私たちの世代は当時幼かったこともあり当時の記憶が曖昧で、震災の当事者としての意識が薄いような気がします。福島県民として、震災の世代として知っておく、発信することは大切なのではないかと思います。相双地区を訪れることは、それにうってつけなのではないでしょうか。
- 2 被災地を実際に見て、現地の人の話を聞くことで震災に対する意識を変え、風評を払拭することができると思うから。
- 2 同じ事を見聞きしても人の数だけ考えた事感じたことが違って、その違いがとても面白いし、ほかの人が質問したこととその返答を聞くとより自分の考察を深めることができるので、集団で行くことには大きな意味があると思います。また、自分一人が見学に行くとしたらこんなにたくさんの大人が動いてくださる

ことはないと思うし、こういう募集があったから取り敢えず応募したけど、来てみると本当に沢山学ぶべきことがあって来てよかったな、と思う生徒も多いのではないかと思います。

相双地区研修に来て、震災と復興を自分の目で見つめて、実際に人に会って、自分の耳で話を聞いて、その心に触れる事で、自分の故郷である福島県のことだけではなくて、自分の過去や将来を見つめ直すことができたと思うし、オンライン化が進む今の現状と逆行する考えではあるかもしれないけれど、自分の足で現地に行って自らの五感をフルに使って正しい知識を得ることや、たくさんの人に触れてその温かさや奥深さを感じる事はやはり素晴らしい事だなと感じることができました。

なんでもネットで調べればいいや、というある意味受動的な姿勢ではなくて、百聞は一見に如かずと言うように自分自身をもって新たな知識を得ていこうとする姿勢が大事だなと思いました。

-
- 2 震災についての情報や知識を聞いて理解するだけではなく、実際に相双地区に足を踏み入れて、今の状況(又は震災当時の状況)を自分の目で見る必要があるのではないかと思います。今回の研修で、千葉先生による放射線や福島復興についての授業や、今まで耳にしていた情報だけではわからなかったことがまだまだたくさんあることに気づかされました。街の雰囲気、津波が来た場所、未だに残っている当時の緊張感や切迫感、どれだけ復興が進んでいるか…を行って見て欲しいと(少なくとも安高のみんなには)思いました。相双地区に行くというのはなかなかない機会ですので、今度また行く機会があれば行って欲しいです。また、そのことをいろんな人に伝えて欲しいし、自分もこれから伝えていけたらなと思います。

2 同じ県内であっても相双地区の現状を知らない人は多いと思われるから。

- 2 もちろん、自分たちだけで相双地区を訪れることはできるけれども、高校生の時期に生の現場に触れることができる機会に自らを投じようと思うきっかけはなかなか少ないと思います。ましてや部活とか勉強とかでなかなか自分で時間を見つけるというのは難しいと思います。だから、高校として研修に行くことができるというのはとても大切な機会だと思っているので、必要であると考えます。また、集団でないとなかなか入れてもらえないところを見学できるというのも、友達の意見を聞くことができるのも高校として集団で行くことのメリットだと考えます。

3 できるだけ多くの人に、現地の様子を見て、現地の人と会うことを通して福島を学んでほしいから。

- 3 同じ場所を一緒に視察して、自分と他人の捉え方を比較できる。その場で意見交換できるし、質問もしやすい。

3 個々人の様々な震災経験があるが、その時に最前線でどのような動きがあったのかを知る事で興味が湧き、それぞれがさらに復興について主体的に行動できるのではないかと思います。自分の故郷に誇りを持ち、住民同士で仲良く過ごすための第一歩になると思う。また、議論を活発にすることによって団体としての士気が上がると思う。

-
- 3 高校生や中学生のうちに今回のような経験をするのが大切だと思うし、相双地区は学生の足で簡単に行ける距離ではないから必要だと思う。

3 自分と同じ年代の人が、現地に行って、同じものを見てどう感じるのか知ることができるから。どんな物事でもそうであるが、意見は千差万別であり、それらに耳を傾けることが大事だと思うから。

3 集団で参加することで、ディスカッションを通して、自分では考えられていなかった質問などを聞いて、被災地復興への理解を深めることができるから。

-
- 3 今回、実際に相双地区を訪問するまでは事前学習していたこともあり、相双地区の復興や原発についてある程度知っていたつもりでした。しかし、百聞は一見に如かずで実際に見て何倍も学ぶことがあったし、現在進行形で知っていたよりも多くの問題に立ち向かっていることを知りました。聞いて知ることはも
-

ちろん大事ですが、それを目で見て記憶によって知っていた知識に上書きすることでより理解が深まり解決への意識が高まるはずです。廃炉資料館は本当に詳しく知ることができて、福島県民なら1度は行って欲しい場所だと思いました。私ももう一度ゆっくり行きたいです。

教員 特に集団にこだわる必要はないが、個人で訪れようとするのはよほど意識のある生徒であり、かつまた個人では実施で実現できない見学・研修もある。学校として研修の場を設けることは、生徒たちへ復興課題への意識を高めることにつながる。現在の復興課題は、この10年間には解決できなかったものばかりであり、直ちに解決できるものはおそくない。また課題そのものも時間とともにどんどん変化している。復興課題の解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を身につけるためには、高校生のうちからこのような現在の実態を知り、学ぶことこそ大切なことだと考える。

教員 個人かつ自力で行くにはハードルが高いため、集団で動くことによって研修の機会が増加すると思うから。

教員 同じ福島県人として「Fukushima」がどのようにして起こり、今どうなっているのかを知ることは、自己のアイデンティティにつながることになる。

教員 これから社会を動かしていく世代である高校生全員が、被災地についてしっかりと関心を持ち何か行動を起こすことが復興を促進していくことになると思います。同じものを見てもひとりひとり思いは違うので、集団で行って意見をシェアしあう機会はとても重要だと思います。また、今回のように当時の体験を聞くのは、震災の記憶があいまいな世代には特に大切なことだと思います。

Q6 今回の研修は、西本さんをはじめとする NPO 法人ハッピーロードネット様のご協力で実現しました。ぜひメッセージを書いて下さい。

1 今回はお時間をとっていただき、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。私は今、どのくらい復興が進んでいるのか、復興のためにどのような活動が行われているのか知りたいと思い、研修に参加しました。みなさんが草がたくさん生えている道路の脇に桜を植える活動や、家を壊さなければならない人のために家や街並みを撮影したりしてらっしゃると知り、すてきだなと感じました。私も将来、人の役に立つ仕事をしたいと考えていたので、福島の復興に携わることへ興味を持ちました。そして、何がゴールなのかは人それぞれあるけれど、復興は着実に進んでいると分かりました。過去の事実を風化させず、将来の復興について考える、そのバランスが大事だと思いました。皆さんの明るさや見せていただいた映像の活躍なさっている姿に元気をいただきました。今回自分の目で見たもの感じたことを発信していけたらと思います。本当にありがとうございました。

1 貴重な体験ができました。メディアを通してではなく、直接相双の被害を受けた地区を見るのは初めてのことで、半壊した建物や、カビの生えた椅子、止まった時計などを見て、画面越しでは伝わらないものを感じました。廃炉資料館なども通して、確実に知識が増え、関心も高まりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

1 今回の研修を通して帰還困難区域に行くことができ、震災の当時の状況や東京電力での原子力発電所での当時の様子などを知ることができ、それをいろいろな人に伝えていきたいと思いました。これらのことを思うことができたのは皆様のおかげです。
本当にありがとうございました。

1 お忙しい中、僕達のためにご協力くださりありがとうございました！
自分の中で思っていた印象がガラリと変わり、僕のように、間違っている考えを持っている人がまだまだ

多いと思います。今度は僕が、そのような人達に向けて正しい情報を発信していく必要があると実感しました！ほんとに本日はありがとうございました！

1 皆さんがあきらめずに活動していただいていたからこそ、今の福島があると思います。本当にありがとうございます。次は私たちの番だと自覚しました。皆さんの活動を引き継ぐことはもちろん、さらにパワーアップさせ、次の世代へのバトンをしっかりと渡していきます。一致団結。がんばっていきましょう！

1 時間が止まったままの場所と動き出した場所の違いに強い衝撃を受けました。私たちのためにこのような場を設けていただき、本当に有難うございました。

1 今回の研修では見るだけでなく、経験者の話を聞くことでさらに理解を深めることができました。ありがとうございました😊

1 まず、お忙しいなかこの研修を開いて頂きありがとうございます。

今まで文字だけの情報で震災や原発事故について学んできましたがこの研修を通して実際の相双地区の現状や当時の状況を詳しく学べることができました。自分たちはこれから後世の人々や周りの人々にこの研修で学んだ知識を伝えていくべきだと思います。伝えることで万が一このような災害がまたおこった際、迅速に正確な対応をして被害を最小限に押さえることに繋げていけたらと思っています。

1 双葉町の時間が止まった部分や復興が進んでいる部分が見れたのでより一層双葉町への関心が深まりました。ありがとうございました。

1 今回は私達のために、震災当時のことや相双地区の現状について教えていただきありがとうございました。私は、震災と原発事故による直接的な被害や社会的な被害については同じ福島県民として知っているつもりでしたが、皆さんのお話を聞いて初めて知ったことや、自分の目で見て感じたことなど、今まで自分の中になかった多くのことを吸収することができました。また、今後についてより深く考えるきっかけにもなりました。私は将来についてははっきり決めていませんが、復興に少しでも関わっていけたらと思います。

1 震災のとき自分はまだ幼く、当時の記憶は曖昧にしかありません。しかし当時、自分たちと同じ年代の人が被害に遭い今までの生活が遅れなくなってしまったということ、小学校訪問で痛感しました。それがもし自分の身に起きていたことだったら、これから震災のようなことが起きたら、自分はどうするべきなのか、深く考える機会をいただきました。本当にありがとうございました。

2 今回は、双葉町などの被災地を見て回るという貴重な機会を与えていただきありがとうございました。私自身、実際に相双地区に行くのは初めてでしたが、ニュースだけでは知ることのできない現状を感じることができ、有意義な経験となりました。今後も機会があれば福島県の復興に関して積極的に考えていきたいと思っています。

2 今日お会いした方々、みなさんとても親切であたたかくて地元愛があって、そういう方々と直接触れ合うことができたからこそ、震災や復興について深く考えることができたし、自分も福島県民の一人として将来にか福島のためになる事をしたいという思いを強める事ができたと思います。たくさんショッキングなお話も聞いたけれど、まっすぐな、誇張のない、真実を話してくださったので、自分もその言葉をまっすぐにそのまま受け取ることができ、自分だったらどうしていたかな、と自分事として考えることができました。

あとは西本さんの女は度胸と愛嬌と笑顔だ、という言葉が凄く印象に残って、勇気づけられました。

日曜日であったにもかかわらず、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました！震災を風化させない、そしてより良い福島を作っていけるように、今自分ができる事を考えて、勉強や課外活動に一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

2 今回初めて相双地区に訪れて、またいろんな方々から話を聞いて、震災や福島の実況、復興等といった、よりたくさんを知ることができました。今回の研修を必ず、これからに生かし、またいろんな人に伝えていきたいと思ひます。本当にありがとうございました。

2 この度は、お忙しい中私たちのために時間を割いていただき、本当にありがとうございました。

2 貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

今日の研修では、普段自分だけでは入れないような震災の状態をそのまま残した役場に入ることができたのが強く印象に残っていますが、それ以上に、ハッピーロードネット様のような、地元で頑張っておられる方々にお会いでき、お話を聞くことができたことが大変印象に残っています。

何度か放射線や復興についての学校の企画に参加させていただく機会があったのですが、ほとんど知識のある方や、被災地の研修をした高校生の発表でした。なかなか地元の方とのふれあいやお話をお伺いする機会が少なかったかなと感じていました。

そんな中でお話を伺って、「感じたことをそのまま伝える」こと、自分たち若い世代が主体となって動くことなど、大変心に響く言葉をいただきました。「自分たちが動かなければ誰が動くんだ？」と考えて、常に当事者意識を持ち行動していきたいと強く思ひました。

また、桜の植樹活動のお話を改めてお聞きし、ドローン映像を見せていただいたことで、自分も機会をいただいて参加させていただきたいなと思ひました。ぜひご案内お願いします！

今日は本当にありがとうございました。

2 西本さんをはじめとするハッピーロードネットの皆様のお話を聞いて、大変勉強になりました。西本さんの双葉を愛する強い気持ちや高校生への思いに心を動かされました。本当にありがとうございました！

3 「メディアを通さない実際の体験」という話がありましたが、その通り、外部のフィルターを通さずノーカットで現状や震災当時の状況(震災に原発事故が重なったことでタイムカプセルのような存在になっていると感じた)を体験できたのが本当に良かったです。また、自分と同じ意見の方・そうでない方、様々な立場の方の話を聞いて、多様な意見や視点があると改めて感じ、そのような意見や視点を知れたことはとても良い経験になりました。

私は「実体験を語り継げる最後の世代である」という自覚を持ってこの企画に参加しましたが、やはりその背負うべきものや責任は重く、個人ではどうにもならないことも多くあると感じました。私たちの世代が皆、自覚と当事者意識を持って復興等諸問題に連携して関わっていく必要があると思ひます。これは一つの理想ですが、福島県内だけでなく、他地域から見た震災・原発事故・その後も同じように伝承していけるとさらに良いと思ひました。ただし、特に原発事故に関しては、事故から時間がかなり経ったこともあり、正直当事者意識が薄れている・そもそもない人が多く、①関心を引く→②考えさせる・さらに知ってもらうという段階を踏んで、再度問題提起をする必要があると考えました。①には今回参加していただいた映像作家さんのような活動が不可欠になるだろうし、大衆に感情や情景を届けられる小説・アニメ・漫画・演劇・映画・ドラマなどの文化的媒体が重要な役目を果たすだろうと思ひます。そのような文化的活動にも注目して活用しつつ、次世代へ繋いでいけたらと思ひます。

願わくば、何らかの形で復興(定義が難しいですが)が叶い、他地域や世界の希望的モデルとなれるような福島に、と思ひています。これを実現できるのかは不明ですが、出来る限り努力して、少しでも復興に近づく手伝いができたらと思ひます。

以上、私が今回の研修で考えたことの一部でした。このような機会を提供して下さった・企画に協賛して下さった皆さんに感謝します。本当にありがとうございました。

3 西本さんのパワフルで大きな存在が、初めてお会いしたのにどこか懐かしく、癒される、心強い方で憧れを感じました。また、吉田さんのお話も淡々としていらっしゃるのにずっしり重くて、最前線での震災当時の緊迫した状況がわかり、東電作業員の方へ初めて感謝の感情が湧きました。出会いに感謝しています。

3 今回は貴重な体験を本当にありがとうございました。今まで安積高校でも原発について学んできましたが、現地に行って肌で感じるものは全く違うもので、当時相双地区にいた方たちの思いや復興に向かって動く方々の気持ちを考えさせられました。これからどんな職業に就いたとしても、一人の福島県民としてできることがあると思うので、今日目で見えたものを胸に日々考えながら生活していきたいと思います。

3 西川さん、先日は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
かねがね千葉先生から西本さんの活動を伺っていました。「故郷に帰ってきた子供たちが、道路沿いの沢山の桜を見て、故郷に誇りを持ってもらいたい。」初めてその思いをお聞きした時、とても感動しました。本当に素晴らしい活動だと思います。福島の子供の1人として、お礼申し上げます。
「語り継ぐ」「遺していく」震災から9年が経って、こうしたことを真剣に考えていく時だと思います。双葉南小学校をはじめ、現地の方の話はお辛いでしょうが、私は、次の世代に伝えたいです。あそこに行って初めて、当時の混乱、そこにいた方々の必死な対応を肌で感じる事が出来ました。胸が張り裂けそうでした。同時に、二度と同じことが起こって欲しくない強く思いました。机に座って本を読んでは知ることの出来ないものがあると思います。
高校3年間、放射線のこと、原発事故のことを学んできました。私は自主避難をして、避難先で辛い経験をしたと記憶しています。全ての元凶である東京電力、国に対して、大人に対してさえ、怒り、恨んでいました。しかし、千葉先生や西本さんから沢山のことを学ばせてもらううちに、自分の知らないところで、自分よりもっと苦しんでいらっしゃる方々がいると知りました。福島の、相双地区に住む方々の力になりたいと思い、今勉強しています。待っていて下さい。必ず、またお会いしたいです。
本当にありがとうございました。

3 私が1番印象に残っているのは、「出会った子供は全員自分の子供だから、困った時には助けることが当然」という内容の言葉です。もし自分が西本さんのような境遇だったら、本当にその考えを持つことが出来たのか、と自分に問いかけると、多分答えはNOだと思います。恐らく、自分自身も被災した身であれば、自分のことにいっぱいになってしまっていたと思います。もちろん私は人を助けたいと思う気持ちは十分に持っていますが、西本さんと同様にトラック運転して支援物資届けて…といったことはできなかったと感じます。本当に西本さんの偉大さと行動力に尊敬します。私も将来復興に少しでも携わりたいと思うことが出来ました。ありがとうございました！

3 まず、当時の緊迫した状況がわかっただけでなく、原発事故を想定した避難訓練が行われていて、でも、それよりも災害の規模が想定外だったことを知りました。また、壁のポスターからは地域の人と東電とは癒着があり、誇りを持っていたということが切に伝わりました。私は今まで東電にあまりいいイメージを持ってませんでした。しかし、吉田さんから、当時の原発では車のバッテリーまでも使って使命感をもって必死に冷却しようとしていたと聞き、仕方ないのかもしれないけど報道で東電が責められるのは悲しく感じました。私たちは情報リテラシーを持って、トリチウム水の問題を始めとして、正しい知識を身につけた上で、想定外の災害の末に起こった事故の解決にもっと協力するべきだと思いました。それと同時に風評被害の問題も絡め、正しい情報が報道させることがいかに重要か考えさせられました。
人間はお金に目がありません。(中略)私だったら、地域の人たちが支え合って自分たちで仕事をする生きがいを感じながら病院、学校、スーパーなど公共施設を運営し、地元にいる方が安心して暮らせる

ような家やお金を始めとした支援の仕方を検討すると思います。

また、世の中の人々が辛い思いをして経験を話す人以上に多くのことを学ぶ姿勢で福島について考えて欲しいし、そのために私たちも語り継いでいかなければいけないと思いました。

今回はたくさんの方の支援のおかげでこのような貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。西本さんには元気をもらいました。愛嬌、度胸、笑顔を忘れずに生きたいと思います😊これからも活動を頑張ってください。また機会があれば活動に携わりたいです。

3 まず、本当に貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。

“福島の復興に貢献したい”といっても、行動に移すのはなかなか難しいと思いつけ、気づけば震災から10年経とうとしてました。しかし、今日、西本さん達と出会って、復興に貢献したい若者を支援してくれる団体がたくさんあることを知ることができました。大学生になったら、頂いた名刺や資料を頼りに連絡したいです。そして、長期休暇などを利用して活動に参加したいです。

西本さん達の前向きな姿からは生きる力を強く感じました。皆さんの約10年間の頑張りを無駄にせず、未来に受け継いでいくためには、私たちの世代が頑張る番だな、と思いました。

またいつかお会いしたいです。本当にありがとうございました。

教員 ハッピーロードネットさんがずっと取り組まれてきた、地域のつながりづくり、人材の育成が、震災以後少しずつ形になり、成果となって表れていると感じました。その成果に乗る形で今回の研修会は大きな成功を収めることができました。あらためてハッピーロードネットの皆さんに感謝申し上げます。

阿武隈山地によって隔てられた中通りに住む私たちにとって、相双地区の復興はニュースを通して見るものであり、フィルターを経た情報でしかありません。今回の研修を通して、直接自分の目で復興の姿を見、自分の耳でお話を聞くことで、生徒一人一人がこの地域の復興課題について自分で考える機会を持つことができました。

震災以後10年が経過して、残された課題は直ちに解決できるものではなく、風評払しょく一つとっても、県民一人一人となって自ら先頭に立ち粘り強く立ち向かわなければならぬ時期に来ていると感じます。福島県民一人一人の震災への意識にも変容を求めているように思います。新たに震災をどう捉え直していくのか、大事な時期に来ていると感じ、高校生への教育の重要性を思わずにいられません。

今回とても良い学びの機会を頂きました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

教員 郡山の高校生たちに貴重な機会をいただき、ありがとうございました。自分のふるさとを大切にしていきたい、発信していきたいという気持ちは、誰しもがもっているものですが、それを行動に移すためには大きなエネルギーがいることと思います。それを乗り越え、積極的に発信されているみなさんの気持ちを受け止め、行動していきたいと思いました。

私はH23年から5年間、相馬高校に勤務しておりましたが、双葉郡の現状を分からないまま転勤してしまい後悔していました。今回、双葉郡の現状を知ることができ、本当に良かったと思いました。ふるさとの復興を目指し、努力されている姿は高校生たちにとって大きな刺激となったと思います。

一日一日大変お世話になりました。

教員 ①生徒の質問「発信する際の苦勞」に対する西本様の発言に共感いたしました。「事実を基に、相手を慮りつつ、自分の意見を発信する」大切さを学ばせていただきました。

②会場でもお話しましたが、西本さん達の活動が今後とも引き継がれていかれることを切に祈っております。

教員 いつも大変お世話になっております。研修、本当に本当にありがとうございました。昨年以上に濃密な内容になり、貴重なお話もいただけて生徒ともども大変勉強になりました。現地の人の話が胸に響いた、という生徒はたくさんいます。

ご準備、いろんな方へのお声がけ等、ハッピーロードネット様の協力なくして実現できませんでした。心から感謝申し上げます。
